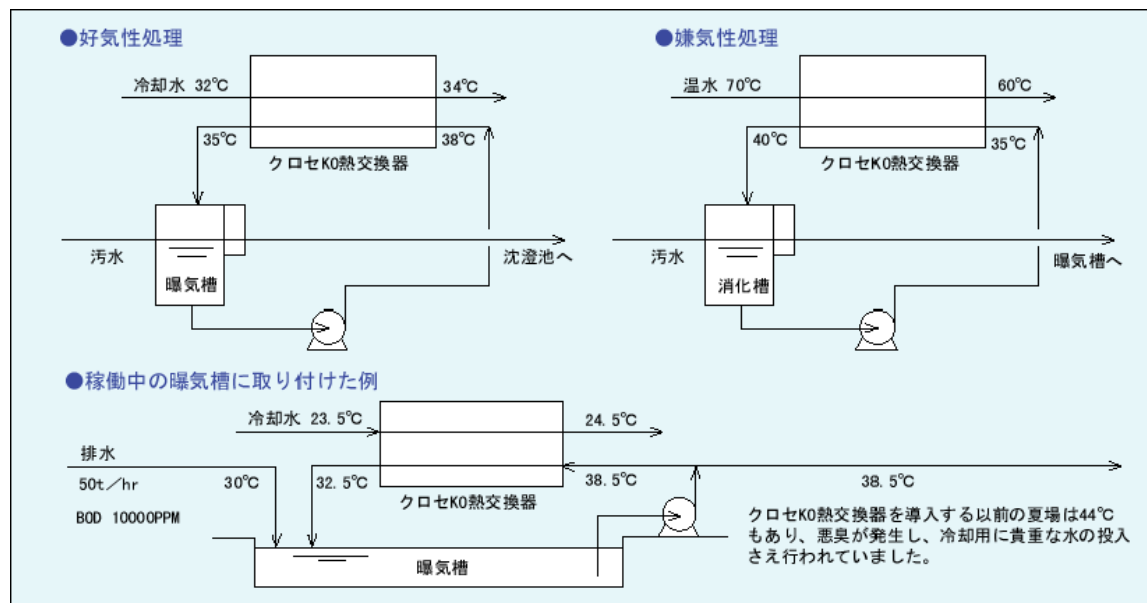




汚泥用スパイラル式熱交換器

株式会社クロセ

繊維質など多くの夾雑物が含まれている汚泥や工場排水などに最適



特徴

- ー1パス構造(単一流路)により自己洗浄作用があります。
- ー高い伝熱性能・最適設計が可能です。
- ー容易に保守、点検が可能です。

概要 (技術原理、動作等)

スパイラル式熱交換器は2枚の金属板をスパイラル状(渦巻状)に巻き付け、2つの流路を形成しています。各々の流路は、単一流路であるため、閉塞しにくく、汚泥を渦巻き状に巻き上げながら流しますので、固形分の沈降もなく入口から流入した汚泥は全て出口から流出します。特に汚泥用は長い繊維を含む流体に最適です。

株式会社クロセ 大阪営業部

〒550-0002

大阪府大阪市西区江戸堀1丁目19番12号

URL:<http://www.kurose.co.jp>

E-mail hatono@kurose.co.jp

TEL:06-6444-0881 FAX:06-6444-0885



Team E-Kansai

技術・製品の性能・スペック

スパイラル式熱交換器の基本構造は左写真の如くディスタンスピース(流間保持材)を設けておりますが、繊維物がディスタンスピースに絡みつきます。そこで弊社は流路にディスタンスピースが無いスパイラル式熱交換器(右写真)を開発致しました。これにより、流路に障害物が無くなり繊維物なども閉塞せず流れます。また内部を点検する際に視界を遮る物が無く、洗浄も用意です。



適用例・実績

- ー日本全国のし尿処理場、下水処理場の80%程度で稼働しております。
- ー食品工場、繊維工場などの排水処理設備に採用されています。

